












# リファレンスマニュアル

## NCDB

Version 1

1	はじめに	1
1.1	概略	1
1.2	保証と責任	1
2	セットアップ	2
2.1	環境条件	2
2.2	プロテクト	2
2.3	インストール	2
3	本ソフトウェアの基礎	3
3.1	ソフトウェアの起動	3
3.2	ソフトウェアの終了	3
3.3	画面構成	3
4	メニューコマンド	4
4.1	[ファイル]メニュー	4
4.1.1	工程ファイルを開く 	4
4.1.2	アプリケーションの終了	5
4.2	[編集]メニュー	6
4.2.1	ファイルの削除 	6
4.2.2	ファイルのコピー 	6
4.2.3	ファイルの移動 	7
4.2.4	ファイル名変更 	8
4.2.5	ファイルの編集 	9
4.2.6	画像ファイルの関連付け 	10
4.2.7	もとに戻す 	11
4.2.8	作図 	12
4.2.9	設定 	13
4.2.10	ファイルの通信 	14
4.3	[表示]メニュー	15
4.3.1	ツールバーとドッキングウィンドウ	15
4.3.2	ステータスバー	16
4.3.3	アプリケーションの外観	16
4.3.4	工程詳細ウィンドウ	18

# 1 1 はじめに

## 1.1 概略

本ソフトウェアはWindows 2000、Windows XP、Windows Vistaの環境下で稼動するNCデータ管理システムです。

## 1.2 保証と責任

本ソフトウェアを正規の方法で購入された方、または弊社より使用を許可された方にのみ、ソフトウェア使用のためのライセンスを供与します。

本ソフトウェアの使用は、コンピュータ1台につき1セットを原則とします。

また、ネットワーク環境でご使用の場合はご相談ください。

本ソフトウェア及びマニュアルを無断で複製、引用することを禁じます。

また、いかなる目的をもってもコードの分解を禁じます。

弊社は、本ソフトウェアをご使用になった上で生じたいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

## 2 2 セットアップ

### 2.1 環境条件

本ソフトウェアを動作させるために必要となるハードウェア、及びソフトウェアの構成は以下のとおりです。

OS: Windows 2000/XP/Vista

(推奨 Windows Vista/XP/2000+SP4 以上)

CPU: Pentium/Athlon 以上 (推奨 PentiumⅢ/Athlon 以上)

メモリ: 64MB 以上 (推奨 128MB 以上)

モニタ: 1024×768 以上 (推奨 1280×1024 以上)

その他 I/O: Windows 準拠

### 2.2 プロテクト

本ソフトウェアをご購入された場合、プロテクトが提供されますので、コンピュータのUSBポート、もしくはパラレルポート(DOS/V機のみ)に差し込んでください。

### 2.3 インストール

1. 起動している全てのアプリケーションを終了して、CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. [インストール手順]ダイアログを表示しますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

※インストール開始までしばらく時間がかかりますので、お待ちください。

## 3 3 本ソフトウェアの基礎

### 3.1 ソフトウェアの起動

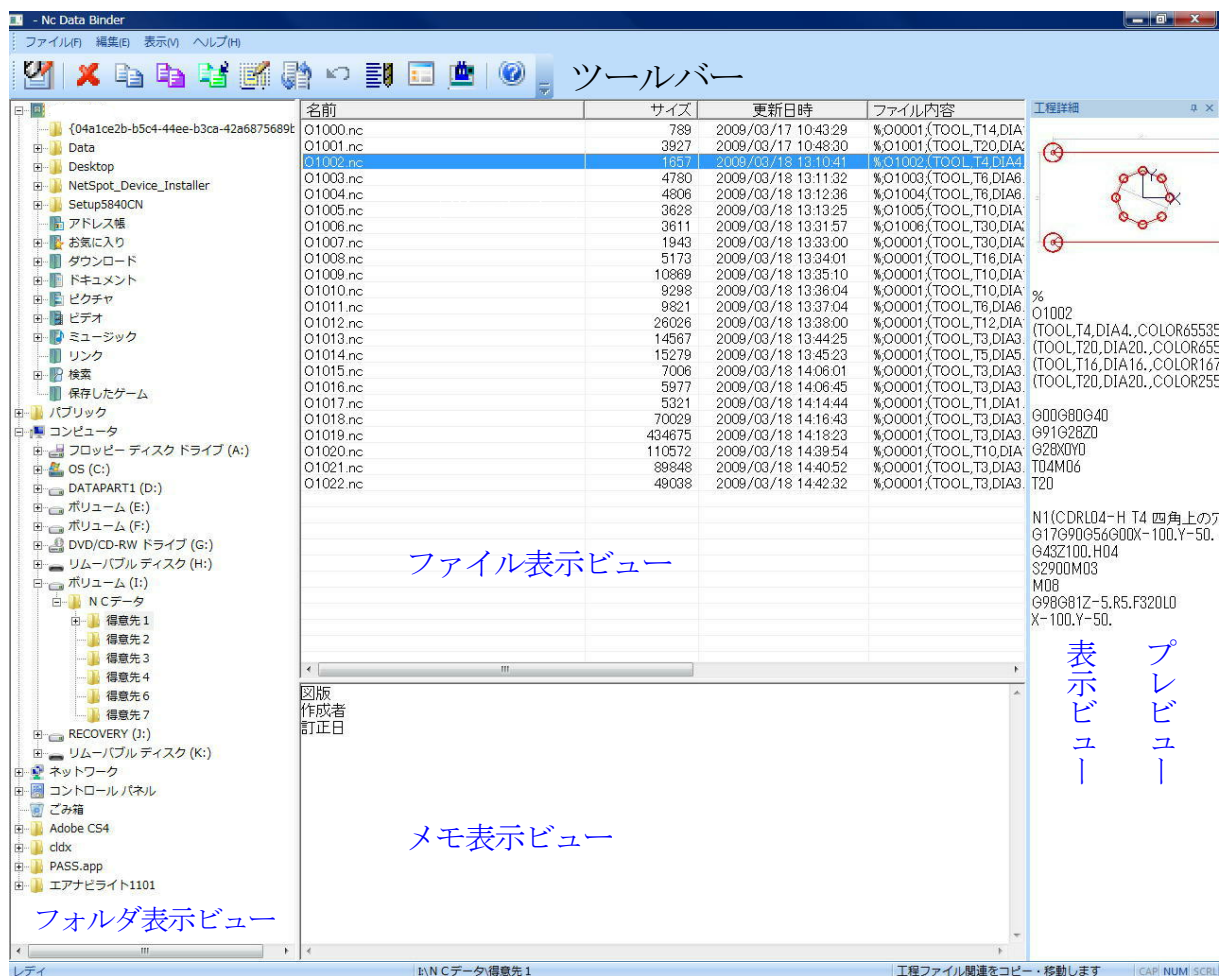
アイコンをダブルクリックします。

もしくは[スタート]ボタンをクリックし[プログラム]からソフトウェアを起動します。

### 3.2 ソフトウェアの終了

メニューバーの[ファイル]－[アプリケーションの終了]を選択しソフトウェアを終了します。

### 3.3 画面構成



## 4 メニューコマンド

メニュータイトルを選択することによりメニュー項目の一覧が表示されます。

現在の状態では選択できない項目は薄く表示されます。

### 4.1 [ファイル]メニュー

[ファイル]メニューには、弊社製CAD/CAMで作成した工程表を呼び出す機能、ソフトウェアを終了する機能があります。

#### 4.1.1 工程ファイルを開く

##### 機 能

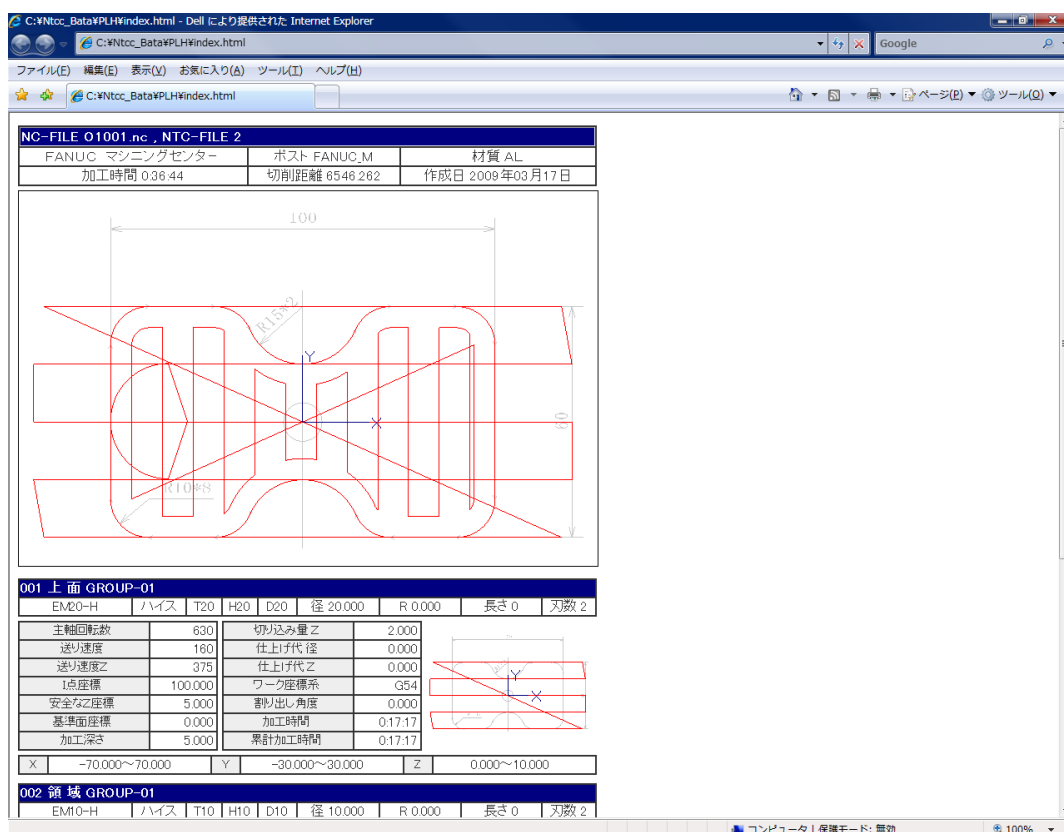
工程表を呼び出します。

##### 解 説

ファイル表示ビューで選択されたファイルの工程表を呼び出し、表示します。

##### 操 作

1. [ファイル]－[工程ファイルを開く]を選択します。
2. ブラウザにて工程表を表示します。



## 4.1.2 アプリケーションの終了

### 機 能

ソフトウェアを終了します。

### 解 説

ソフトウェアを終了する時に選択します。

### 操 作

1. [ファイル]－[アプリケーションの終了]を選択します。

ソフトウェアを終了します。

## 4.2 [編集]メニュー

[編集]メニューには、ファイルの削除・コピー・移動などファイルに関する機能、NCプログラムの種類設定・メモ表示項目等の機能があります。

### 4.2.1 ファイルの削除

#### 機 能

ファイル表示ビューで選択されたファイルを削除します。

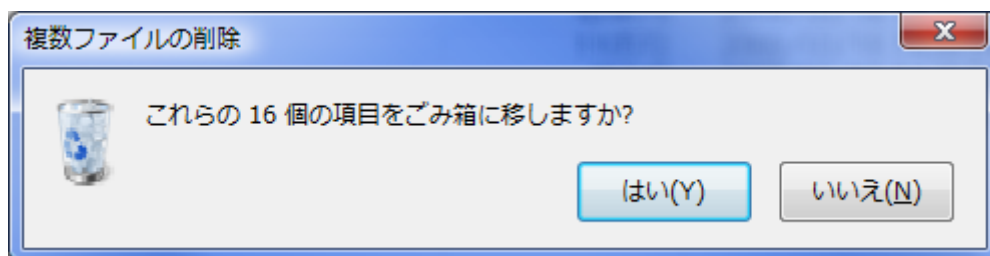
#### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルを削除します。

削除されたファイルはごみ箱にありますので後で、戻すことが出来ます。

#### 操 作

1. ファイル表示ビューで削除したいファイル名を選択します。  
複数選択する場合 Sh i f t キーを押しながらマウスで選択した場合は押された範囲が選択されます。  
複数個別の場合 C t r l キーを押しながらマウスで個別に選択します。
2. ファイル選択後、[編集]－[ファイルの削除]を選択します。
3. ファイルの削除確認ダイアログが表示されます。



4. 削除する場合は、を取り消す場合はをクリックします。

### 4.2.2 ファイルのコピー

#### 機 能

ファイル表示ビューで選択されたファイルを別の場所へコピーします。

#### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルを指定した場所へコピーします。

コピーの時に指定したファイルのみか、工程ファイル関連ファイルも含むか選択出来ます。

#### 操 作

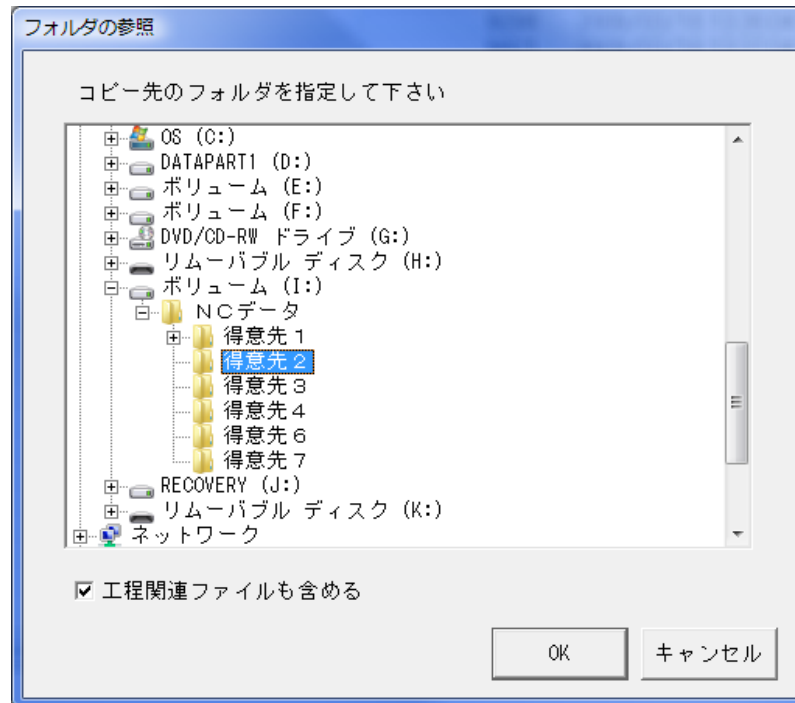
1. ファイル表示ビューでコピーしたいファイル名を選択します。  
複数選択する場合 Sh i f t キーを押しながらマウスで選択した場合は押された範囲が選択されます。



複数個別の場合     C t r l キーを押しながらマウスで個別に選択します。

2. ファイル選択後、[編集]－[ファイルのコピー]を選択します。

3. フォルダ参照ダイアログが表示されます。



工程関連ファイルも含めるにチェックが入っている場合は、弊社製CAD/CAMで

工程表を出力しているファイルも含めてコピーします。

チェックを入れない場合は、選択したファイルのみをコピーします。

## 4.2.3 ファイルの移動

### 機 能

ファイル表示ビューで選択されたファイルを別の場所へ移動します。

### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルを指定した場所へ移動します。

移動の時に指定したファイルのみか、工程ファイル関連ファイルも含むか選択出来ます。

### 操 作

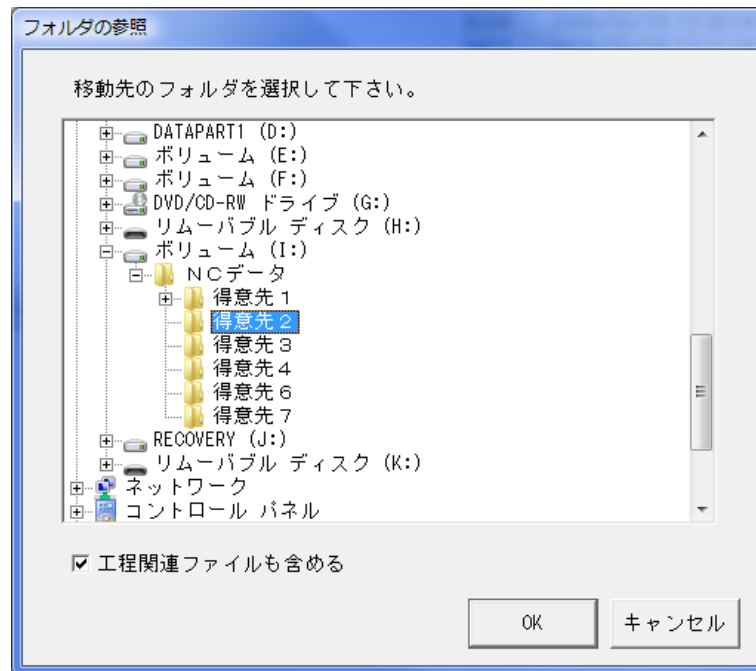
1. ファイル表示ビューでコピーしたいファイル名を選択します。

複数選択する場合     S h i f t キーを押しながらマウスで選択した場合は  
押された範囲が選択されます。

複数個別の場合     C t r l キーを押しながらマウスで個別に選択します。

2. ファイル選択後、[編集]－[ファイルの移動]を選択します。

3. フォルダ参照ダイアログが表示されます。



工程関連ファイルも含めるにチェックが入っている場合は、弊社製CAD/CAMで  
工程表を出力しているファイルも含めて移動します。  
チェックを入れない場合は、選択したファイルのみを移動します。

## 4.2.4 ファイル名変更

### 機 能

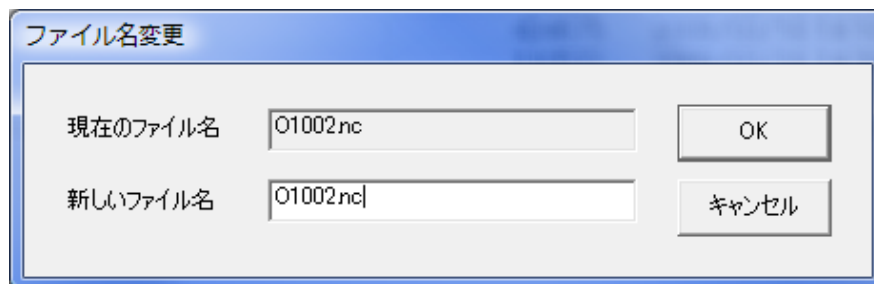
ファイル表示ビューで選択されたファイルの名前を変更します。

### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルの名前を変更します。

### 操 作

1. ファイル表示ビューで名前を変更したいファイル名を選択します。  
複数選択する場合 Shift キーを押しながらマウスで選択した場合は  
押された範囲が選択されます。  
複数個別の場合 Ctrl キーを押しながらマウスで個別に選択します。
2. ファイル選択後、[編集]－[ファイル名変更]を選択します。
3. ファイル名変更ダイアログが表示されます。



4. 新しいファイル名に変更するファイル名を入力後、**OK**をクリックします。

## 4.2.5 ファイルの編集

### 機 能

ファイル表示ビューで選択されたファイルの編集を行います。

### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルの編集を行います。

設定の中で設定されている編集のアプリケーションを呼び出します。

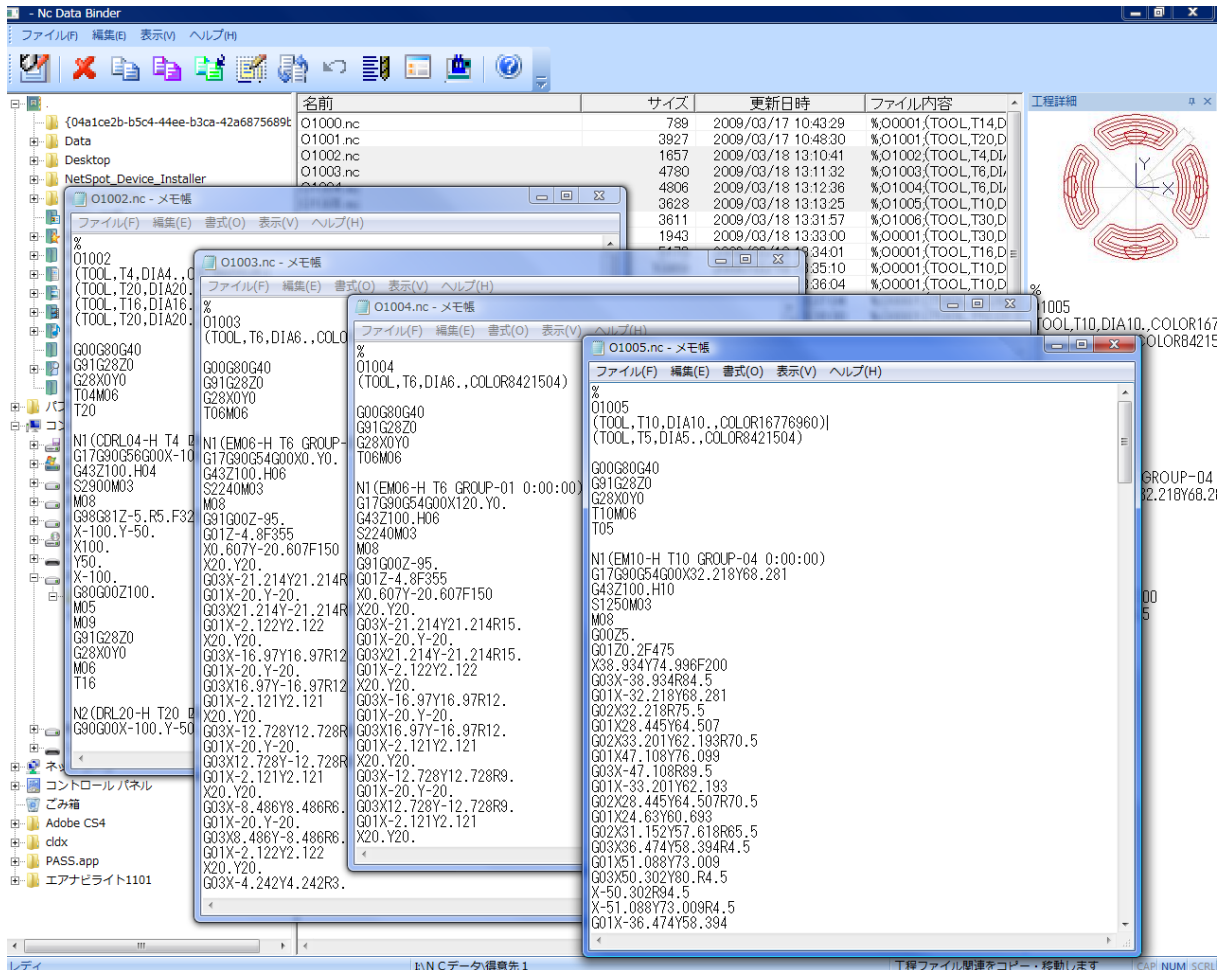
### 操 作

1. ファイル表示ビューで編集を行うファイル名を選択します。

複数選択する場合    **S h i f t** キーを押しながらマウスで選択した場合は  
押された範囲が選択されます。

複数個別の場合    **C t r l** キーを押しながらマウスで個別に選択します。

2. ファイル選択後、[編集] - [ファイルの編集]を選択します。



## 4.2.6 画像ファイルの関連付け

### 機 能

ファイル表示ビューで選択されたファイルに画像ファイルの関連付けを行います。

### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルに画像ファイルの関連付けを行います。

図面・製品の画像等のファイルをプレビュー画面に表示します。

設定出来るファイルの種類は、ビットマップ (bmp) ・ J P E Gファイル (J P G) ・ T I F Fファイル・ P N Gファイル・ G I Fファイル等です。

### 操 作

1. ファイル表示ビューで画像ファイルの変更を行うファイル名を選択します。

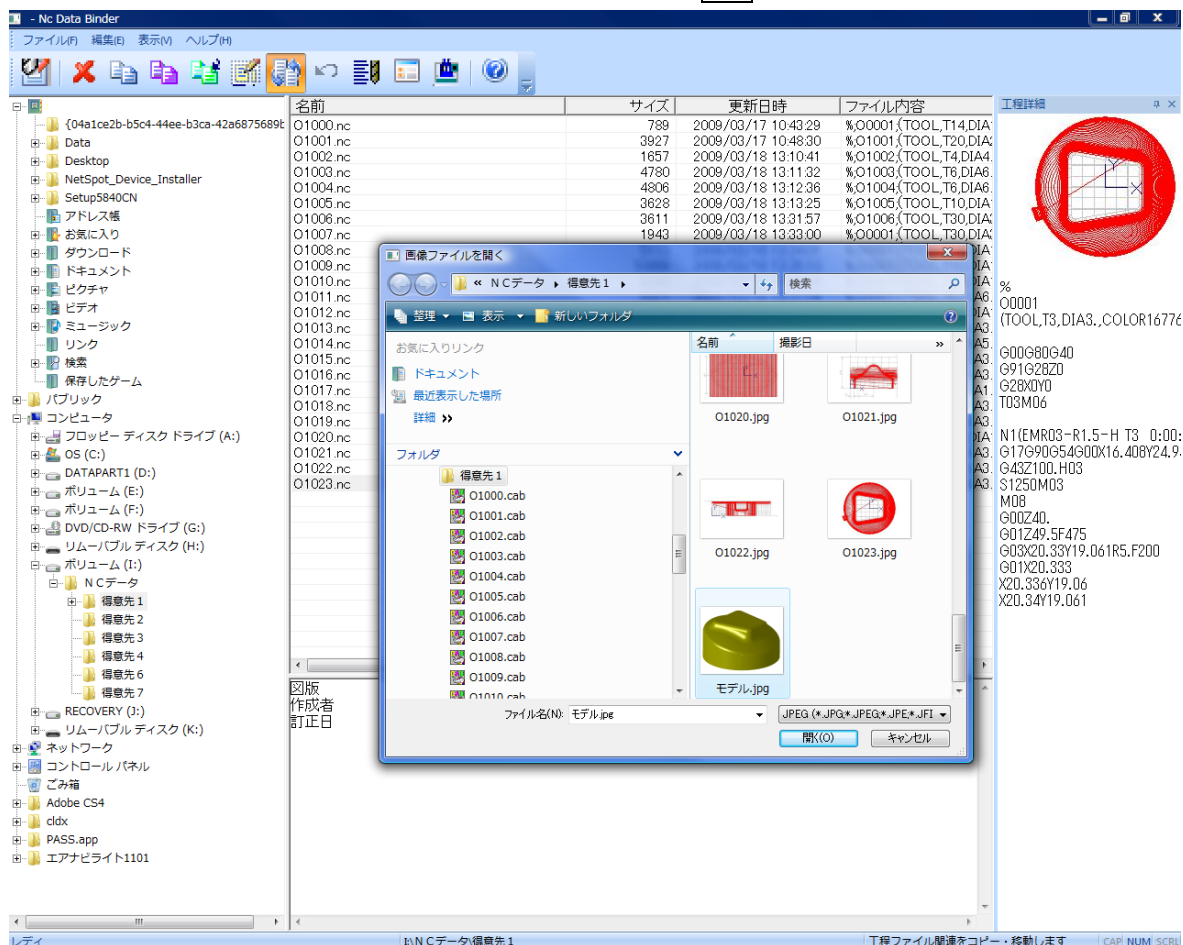
複数選択する場合 Sh i f t キーを押しながらマウスで選択した場合は押された範囲が選択されます。

複数個別の場合 C t r l キーを押しながらマウスで個別に選択します。

2. ファイル選択後、[編集] - [画像ファイルの関連付け]を選択します。

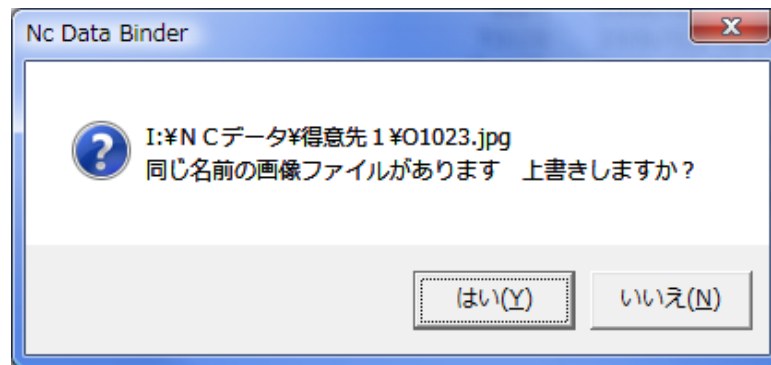
3. 画像ファイルを開くダイアログが表示されます。

変更したい画像ファイルを選択後、**開く**をクリックします。

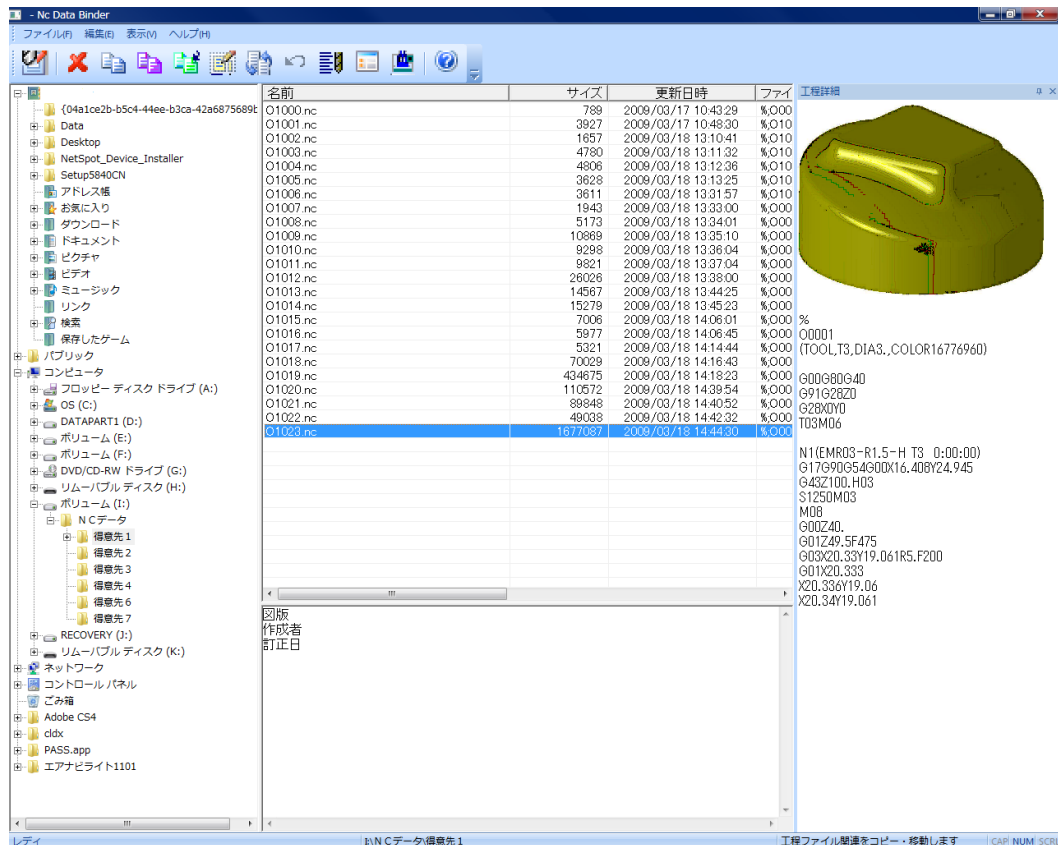


既に画像ファイルが設定されている場合は、上書き確認のダイアログが表示されます。

画像ファイルを書き換える場合は、**はい**をクリックします。



画像ファイルがプレビューに表示されます。



## 4.2.7 もとに戻す

### 機能

ファイルの削除でゴミ箱へ移動したファイルをもとに戻します。

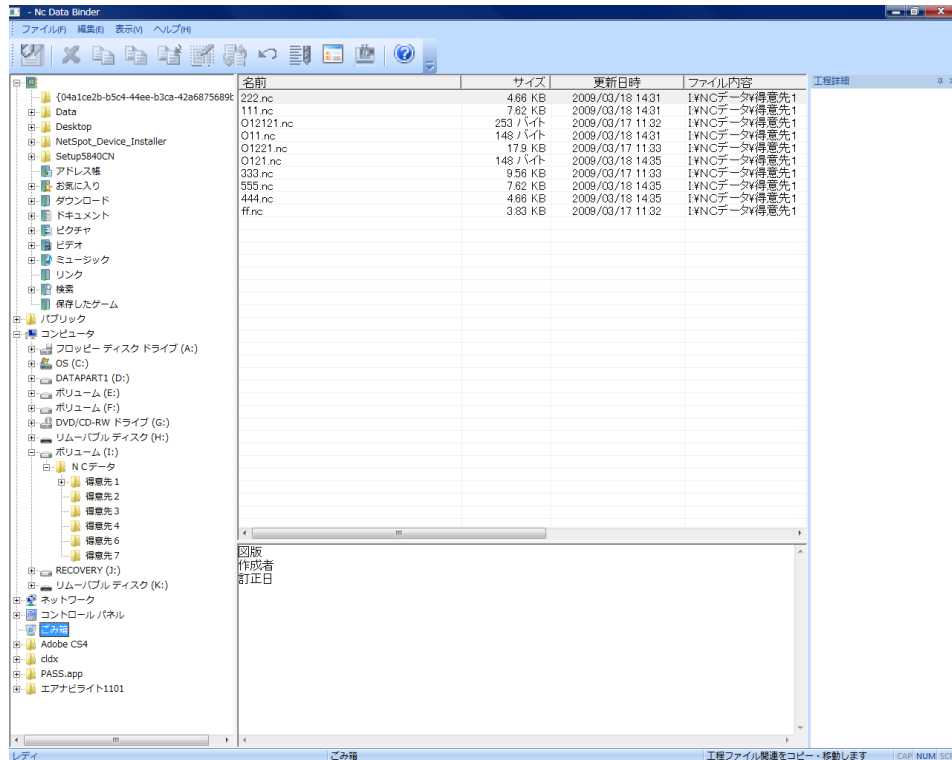
### 解説

このコマンドを実行するとゴミ箱へ移動したファイルをもとに戻します。

このコマンドはツリービューのゴミ箱を選択している時以外は無効です。

## 操 作

1. ツリービューのごみ箱を選択します。  
ごみ箱にあるファイルが表示されます。



2. ファイル表示ビューでもとに戻したいファイル名を選択します。  
複数選択する場合 Sh i f t キーを押しながらマウスで選択した場合は  
押された範囲が選択されます。  
複数個別の場合 C t r l キーを押しながらマウスで個別に選択します。
3. ファイル選択後、[編集]－[もとに戻す]を選択します。  
削除されたもとの場所へファイルをもどします。

### 4.2.8 作図

## 機 能

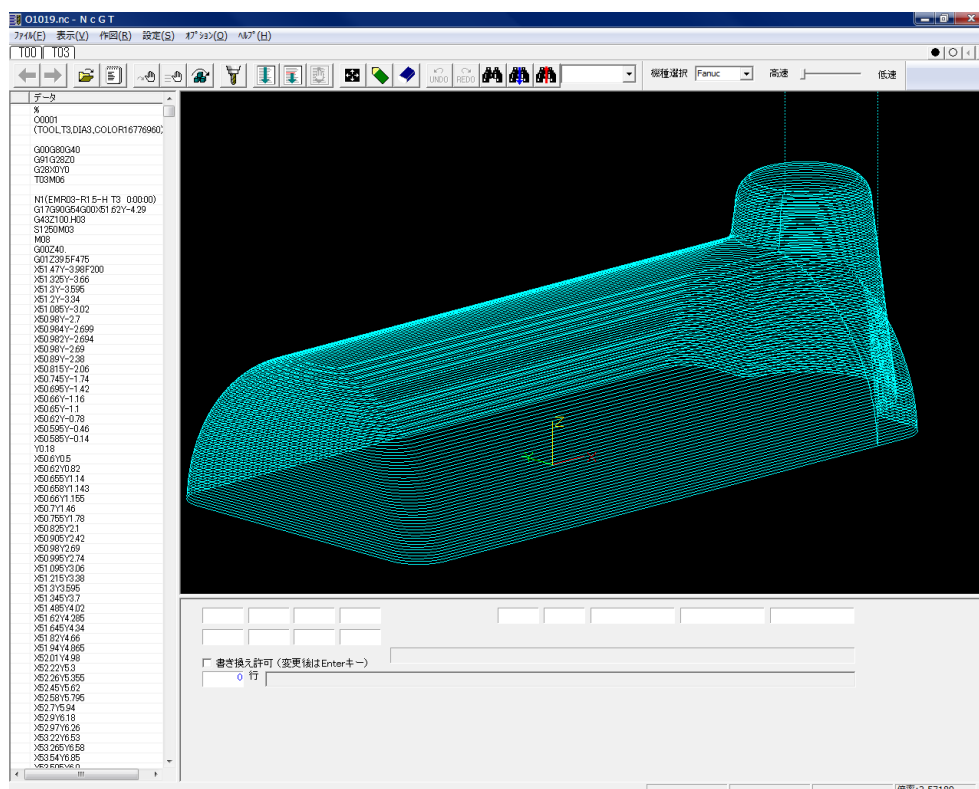
ファイル表示ビューで選択されたファイルをNCGTで起動します。

## 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルをNCGTで起動を行います。

## 操 作

1. ファイル表示ビューでNCGTで起動したいファイル名を選択します。
2. ファイル選択後、[編集]－[ファイルの作図]を選択します。
3. NCGTが起動します。



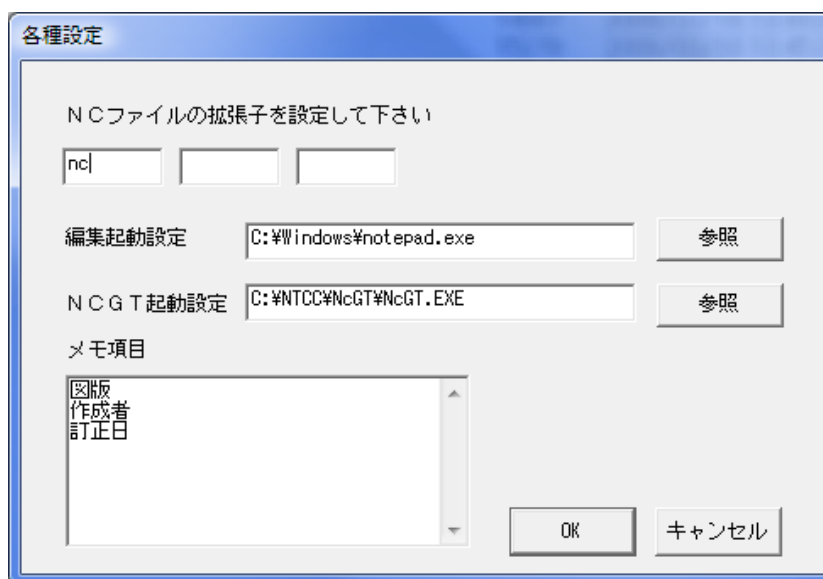
## 4.2.9 設定

### 機能

表示するファイルの種類、編集アプリケーション名等の設定を行います。

### 操作

1. [編集]－[設定]を選択します。
2. 各種設定ダイアログが表示されます。





- ファイル表示ビューで表示したいファイルの拡張子を設定します。

拡張子のみを入力して下さい。（3種類）

- 編集起動設定 編集アプリケーションを設定します。
- NCGT起動設定 NCGTのパスを指定して下さい。
- メモ項目 メモ表示ビューで初期表示させたい項目がありましたら、項目を登録して下さい。

2. 設定を保存する場合は、**OK**をクリックします。

## 4.2.10 ファイルの通信

### 機 能

ファイル表示ビューで選択されたファイルをR s c o mで起動します。

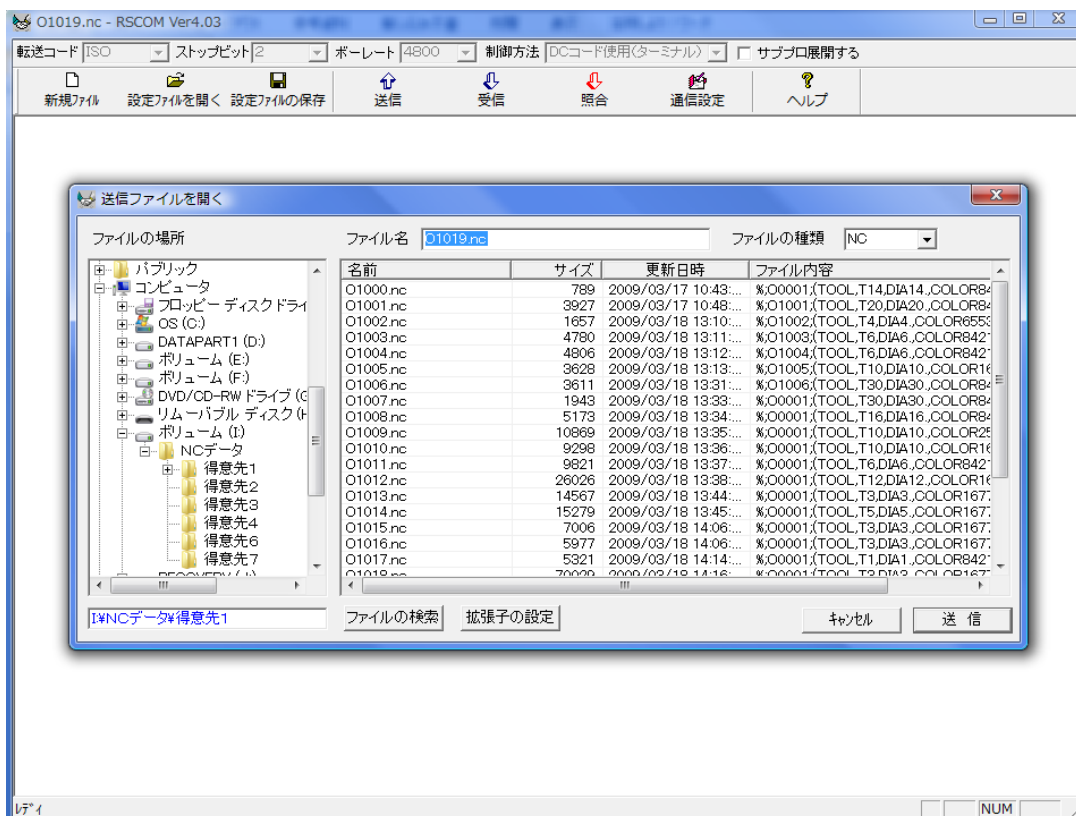
### 解 説

このコマンドを実行するとファイル表示ビューで選択されたファイルをR s c o mで起動を行います。

選択した送信ファイルの選択状態になります。

### 操 作

1. ファイル表示ビューでR s c o mで起動したいファイル名を選択します。
2. ファイル選択後、[編集]－[ファイルの通信]を選択します。
3. R s c o mが起動後、送信ファイルを開く画面の待機状態になります。





## 4.3 [表示]メニュー

### 4.3.1 ツールバーとドッキングウィンドウ

#### 機 能

ツールバーの表示ドッキングウィンドウの設定を行います。

#### 解 説

ツールバーの表示・非表示及び工程詳細ウィンドウの表示・非表示の設定を行います。

#### 操 作

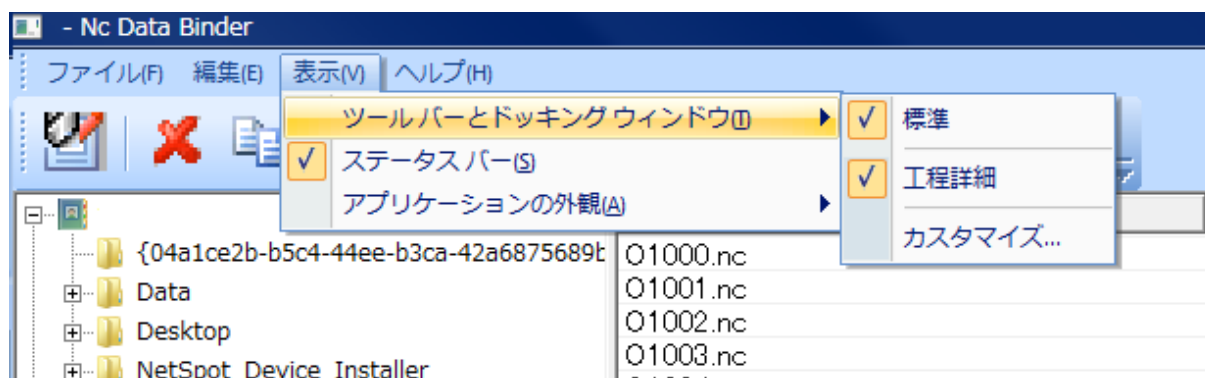
1. [表示]を選択します。

ツールバーを表示する場合は、標準のチェックを入れます。

非表示の場合は、チェックを外します。

工程詳細ウィンドウを表示する場合は、チェックを入れます。

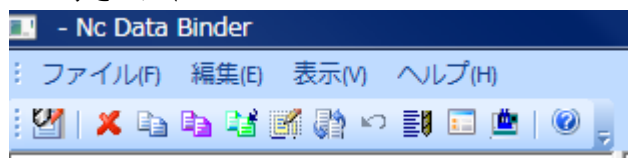
非表示の場合は、チェックを外します。



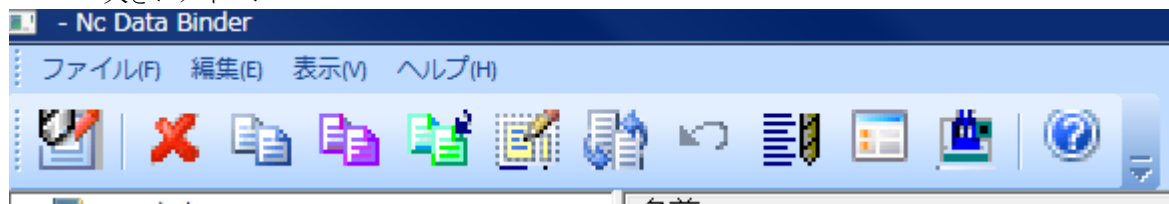
3. カスタマイズ項目はN c DBでは使用していません。

ツールバーの大きさを変更する場合のみ、オプションタブの大きいアイコンのチェックで切り替わります。

#### 小さいアイコン



#### 大きいアイコン



### 4.3.2 ステータスバー

#### 機 能

ステータスバーの表示の設定を行います。

#### 解 説

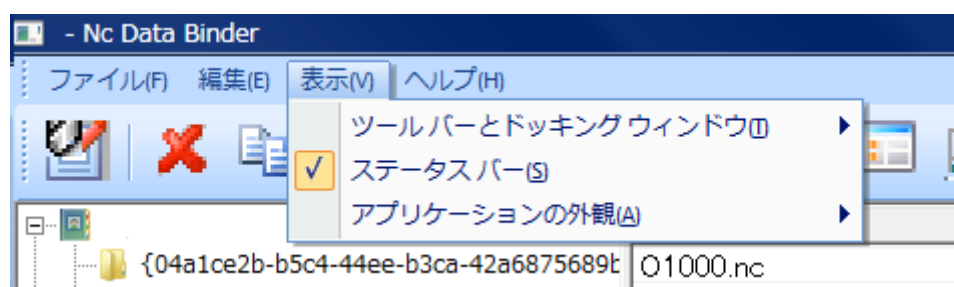
ステータスバーの表示・非表示の設定を行います。

#### 操 作

1. [表示]を選択します。

ステータスバーを表示する場合は、チェックをいれます。

非表示にする場合は、チェックを外します。



### 4.3.3 アプリケーションの外観

#### 機 能

NCDBの外観の設定を行います。

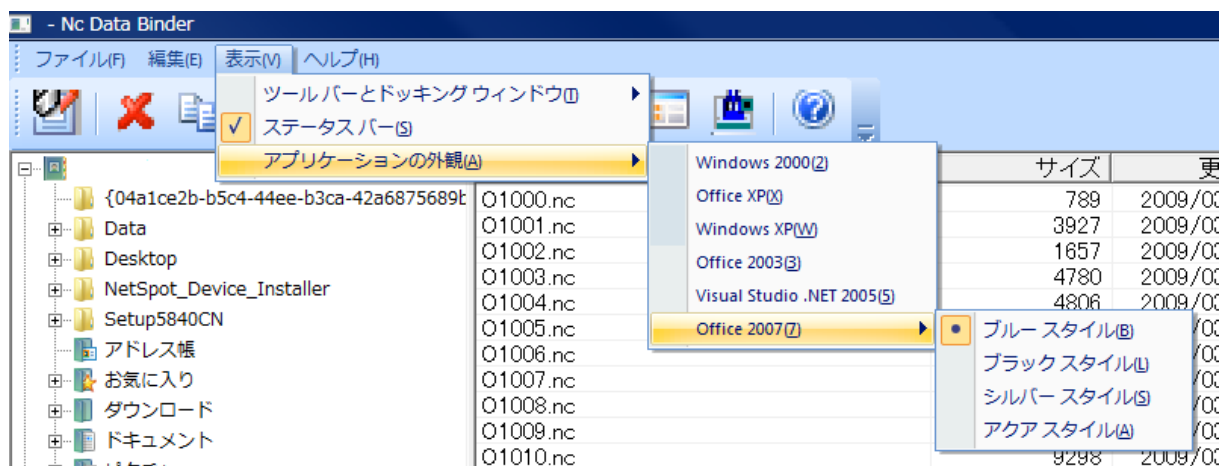
#### 解 説

NCDBの配色等の外観の設定を行います。

#### 操 作

1. [表示]を選択します。

お好みの外観を設定して下さい。





## 4.3.4 工程詳細ウィンドウ

### 機 能

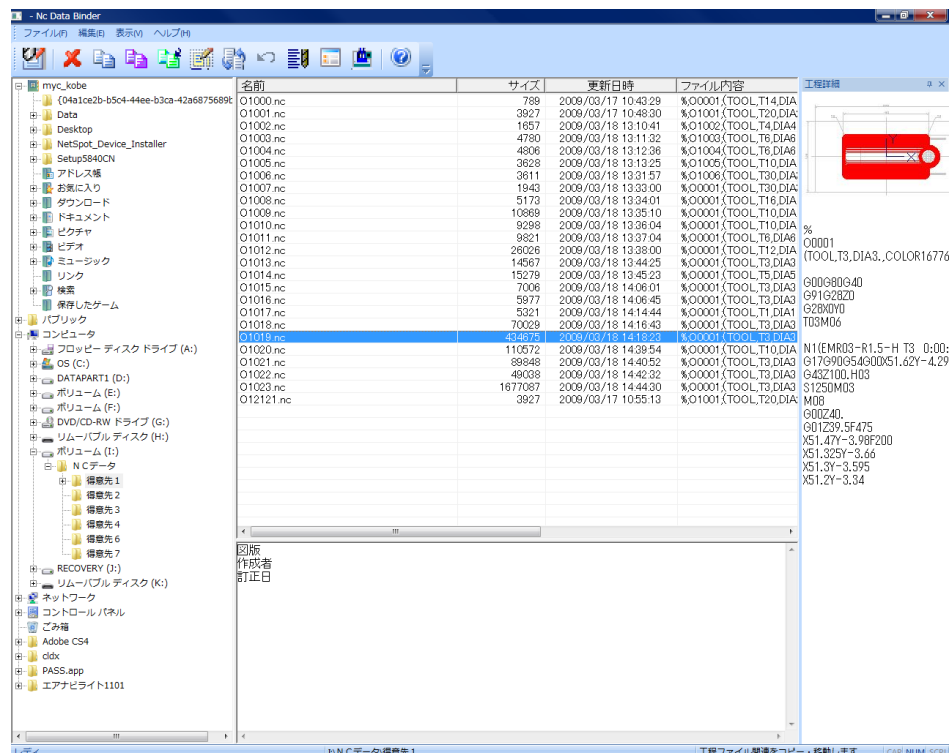
選択されたNCプログラムの画像、プログラムの先頭部分を表示を行います。

### 解 説

ファイル表示ビューで選択されたファイルの関連付けの画像ファイルがあれば  
画像の表示及びNCプログラムの先頭部分を表示をします。

### 操 作

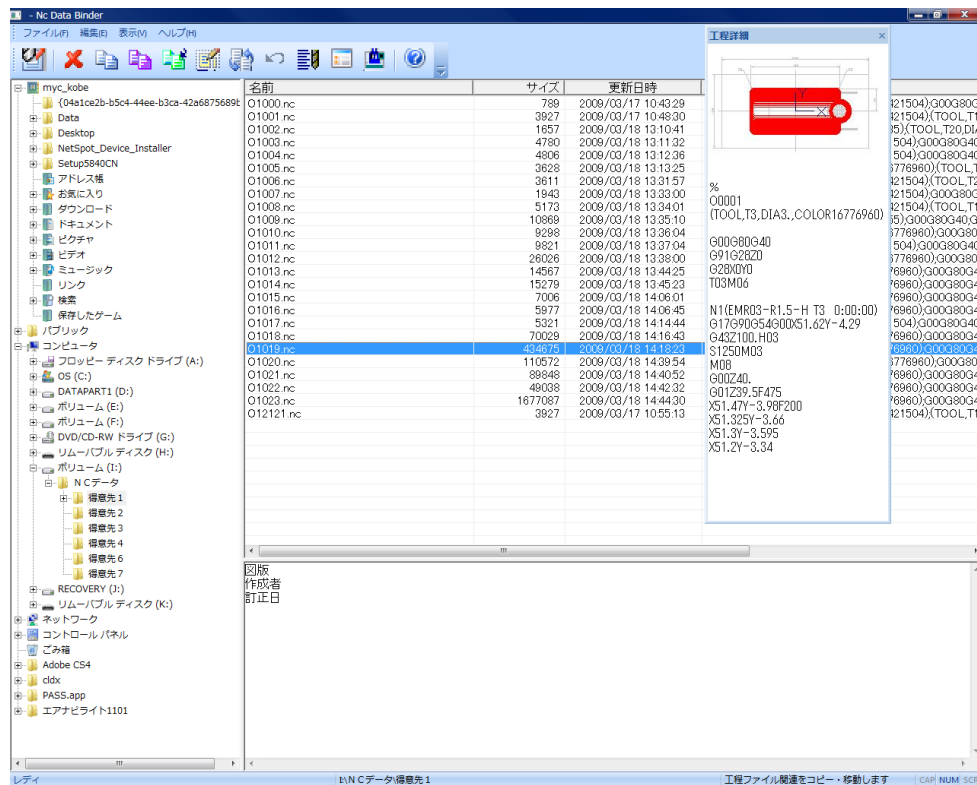
固定表示 N CDBの右側にドッキング状態の場合



フローティング状態 工程詳細タイトルバーの上で、マウスをダブルクリックします。

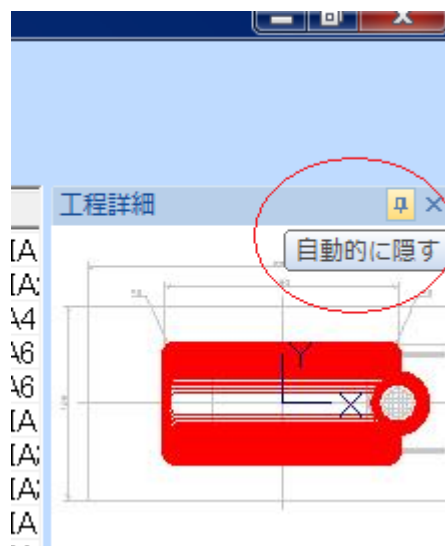
工程詳細ウィンドウがフローティング状態になりますので  
好きな位置に配置できます。

元のドッキング状態に戻す場合は、マウスでダブルクリックします。



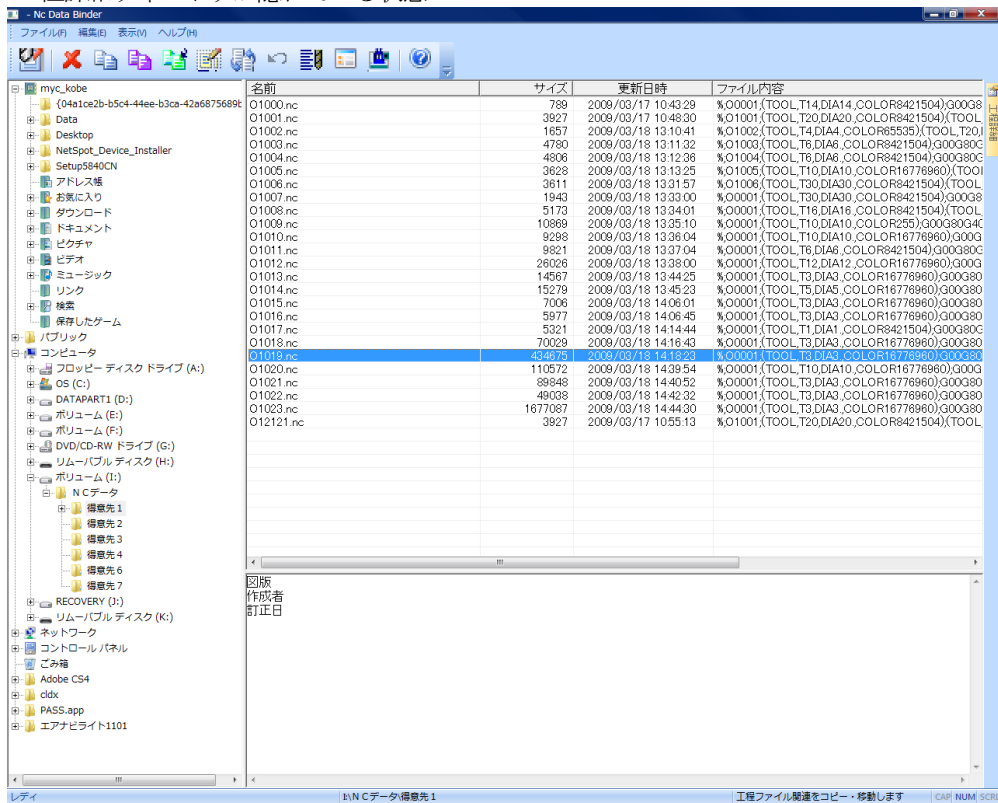
自動的に隠す 工程詳細ウィンドウを必要な時以外、隠しておく場合は自動的に隠すをクリックします。

ピンのアイコン部分



タブの表示に変わりますので、必要な時は工程詳細タブの上にマウスを置くとウィンドウが表示されます。

## 工程詳細ウィンドウが隠れている状態



## マウスを工程詳細タブの上にある状態

